

## 多摩水道施設点検作業委託成績評定要綱

### (趣 旨)

第1条 本要綱は、点検作業委託（以下「委託」という。）における受託会社の点検作業委託成績評定（以下「成績評定」という。）の実施に関し、必要事項を定めることにより当該委託の履行状況を客観的に把握し、作業の質的向上を図るとともに、良好な履行を確保するために定めるものである。

### (実施部署)

第2条 成績評定は、多摩設備部において次に定める者が行い、点検作業委託成績評定報告書（以下「評定報告書」という。）を作成する。

- (1) 集中管理室長
- (2) 集中管理室副室長
- (3) 集中管理室担当者

### (改善の指示)

第3条 履行状況において、仕様書の内容から逸脱等の問題がある場合、委託者は受託者に対し、その改善のための措置を指示書（様式2）により指示する。

- 2 受託者は、指示書に定める期日までに業務を改善し、委託者に改善報告書（様式3）を提出しなければならない。
- 3 委託者は指示書に定める期日までに業務が改善されなかった場合、改善指示書（様式4）により業務の改善を再度指示する。この場合評定報告書の関連項目を「不備」と評定する。

### (評定)

第4条 評定対象期間は、履行開始から1年間を単位とし、対象期間最終日を基準日として評定を実施する。

- 2 評定は、「点検作業委託成績評定報告書」（様式1-1）、「基本業務評定票」（様式1-2）、「業務管理評定票」（様式1-3）に記入して行う。
- 3 評定は総評定点に応じて区分する。

優良	良好	普通	やや不良	不良	かなり不良
90点以上	75点以上 90点未満	60点以上 75点未満	55点以上 60点未満	50点以上 55点未満	50点未満

(評定後の報告)

第5条 多摩設備部長は「点検作業委託成績評定報告書」(様式 1-1)を経理部長に提出する。

- 2 経理部長は、必要と判断した場合、多摩設備部長に対し、受託者への指導に関する資料、情報の提供及び実地の調査又は履行の改善処理について、必要な措置を講じることを求めることができるものとする。

(評定結果の通知)

第6条 成績評定の通知は、受託者へ点検作業委託成績評定結果通知書(様式 5)により通知する。

- 2 通知者は代表取締役社長とする。

(委託者への苦情申立て)

第7条 受託者は、第6条の通知に苦情があるときは、委託者に申立てることができる。

- 2 受託者は、前項の規定により苦情の申立てをする場合は、通知を受けた日の翌日から起算して7日以内に、苦情申立書を設備管理課長に提出しなければならない
- 3 受託者は、申立ての根拠となる証拠及び記録書類等を苦情申立書も添付するものとする。
- 4 通知者は、苦情の申立てがあった場合、多摩水道施設点検作業委託成績評定苦情審査委員会(以下「委員会」という。)に付議し、その意見を聞かなければならない。
- 5 委員会の運営等に関しては別に定める。

(苦情申立への回答)

第8条 通知者は、委員会の意見を十分検討し、その結果を書面により、設備管理課長を通じて、速やかに受託者に回答しなければならない。

(評定結果の取扱い)

第9条 委託期間中における、成績評定結果に応じて、委託者は受託者に対し、当該年度の委託料の総額に、次表の割合を乗じた金額を減算相当分として、基準日翌月の支払金額から差し引くものとする。

やや不良	不良	かなり不良
1 %	3 %	5 %

(附則)

本要綱は、令和3年8月1日より施行する。